

# 因島高校を支援する会

発行 因島高校を支援する会  
会長 竹中啓修  
事務局: 因島高校PTA  
☎08452-4-1281  
題字 竹中啓修

## 新春談議 「因島の教育」

因島市教育長 宮地康福 因島高校PTA会長 岡野長寿  
因島高校を支援する会会長 竹中啓修 因島市PTA連合会長 小川佳孝



さいと話しています。  
**岡野** 学校のホームページを見ると各校の現状がよくわかります。地域の声が反映されていると感じます。

**宮地** 小中学校では、各学期に一回程度、学校評議員会を開き、地域のみなさんのご意見をいただき、学校運営に活かしています。

**竹中** 私は、高校の評議員に選任されていますが、2年ほど開かれていないので、校長に要望しましょう。

**岡野** 高校の海外語学研修ですが、今年度12名の生徒が、春休みにオーストラリアへ出かけます。因島市ならびに教育委員会の助成金を得ていることと支援する会のご支援に感謝いたします。

### 学校の危機管理と防犯対策

**宮地** 平素より教育行政の推進に当りましては、ご尽力いただきありがとうございます。学校が、よくなってきています。そのも、大勢の市民や保護者のみなさんのおかげです。校長には、学校の様子を、市民・保護者に向けて情報発信したいと思っています。

**小川** 因島ではお陰さまで起つてませんが、全国的に子どもを対象にした犯罪が増えていきます。公立小中学校でも、警備員を常駐させて、子どもたちの安全を守ろうという市



因島市PTA連合会長 小川佳孝

町村も多くなつてきています。地域の老人会とタイアップして、登下校時にボランティアが見守っている地区もあります。因島では、どうですか。

**宮地** 警察からは、特に環境面において、柵を張るなり、外部からの不審者の進入がないように整備するよう、ご指導をいただいています。これも110番も引き続き協力いただき、万全を期してゆきたい。現場では、始業後は、校門を閉める等、「不審者侵入防犯マニュアル」に従って、対策を実施しています。

**小川** 防犯ブザーを、市P連が中心になって、小学校校長会、中学校校長会と、連名で一活購入したいと考えています。ひとつ約350円で希望個人購入です。他の地区では、市や教育委員会が負担したり、警察が支給しているところもあるようですが、因島市では緊急な予算組みは必ずしも自分たちの子は、自分たちが



因島市教育長 宮地康福

守ろうということ、早く実行するのが先決と、PTAがまとめて安く共同購入することになっています。

### 学校統合について

**宮地** 各地域で学校統合に関する懇談会や市政を語る会で話してきました。教育委員会の方針としては、因南3中学は統合しなくてはいけないと考えています。現在の学級数は、土生中5、田熊3、三庄4です。このままでは、各校共に全教科の教員の確保がむずかしい。

**小川** 旧因島高校(土生)の跡地に学校を新設するか既存の施設を活用するかについては、来年度、耐震構造の診断調査の予算計上させていただきたいと思っています。

**小川** 中高一貫教育という話も提示されていましたが。

**宮地** 因北地区は、県や高校と協議が必要ですが、中高一貫校(案)を検討したいと考えています。

現時点では、因島には、二つの中学校は必要と考えており、因南中に行くか、中高一貫校に行くかという、二つの選択肢が提案できるようなことになる。

**小川** 旧因島高校を使用するというハード面はいいが、要は中身の問題だと思います。今日から、一緒にになりなさい。というわけにはいかなさう。学力や生徒指導の較差があれば、統一も図れないという懸念が、統合の時期が不明瞭で、市P連としても、なか

なか対策が打てません。  
**宮地** 統合にむけての意識の醸成として、例えば、音楽会や運動会を他校と一緒に計画運営も必要でしょう。現実には、体育面では、学校単位で、サッカーとかチームが組めなくなり、合同でチームを組んで出場する状況も出ています。

**小川** 保護者の中には、統合したくないという意見もあるようですが、わだかまりもなくなっていくとは思いません。地ならしが必要で、高校の統合の場合、スケジュールが明確にされましたので、該当する親は本気で、取り組んだと聞いております。

**宮地** 近い時期に保護者のみなさんに話させていたかどうか考えています。

**竹中** 高校は、学校の風土が違う中、十分な地ならしはなままに統合され、生徒に大きなまとまりがありました。

### 中高の連携

**岡野** 重井中学校の要望により、高校から英語の先生が出てきて授業しています。高校の吹奏楽部も重井中の文化祭に出演し、その後、因島高校に入学し、あこがれの吹奏楽に入部した生徒もいるようです。

**小川** 他の中学も交流したらいいですね。

にもなります。こんなすばらしい先生がいるのなら、因島高校に進学したいというようにね。  
**小川** 数年前と比べると通学態度など、よくなつてきましたね。囲碁や、体操部の活躍も頼もしいですね。

**岡野** 現在は、高校の授業態度もよくなりました。特別進学クラスは、雰囲気も良く進学対応の授業もできるようになりまし。PTAと教員で登下校の交通指導もしています。

**小川** 中学から高校に進む段階で、将来何になりたいか、目標を見つけていくわけですが、地元で学べるということ、は、一番いいことです。

**宮地** 「学校が変わった。」と、県教育委員会でも評価が高いようです。

**小川** 昔は、日曜日なんか先生の家や下宿に尋ねていったものです。今は、遠くから通っている先生が多く、子ども達とのふれあいが少ないですね。  
**竹中** 島内に住む先生を増やしてほしいですね。

**宮地** 小中学校では、研修や異動により、他校や他地域のよさも感じ取り切磋琢磨されるというところで、教員の交流は必要で活性化されている面もあります。

**竹中** 島外の学校で勤務したり、研修して、因島に帰ってきていた方がいいですね。

談話を学年単位で行っていますが、昨年度、高校にお願いをして、PTAは重井と田熊で、地域懇談会を実施し、先生方と懇談の場を設けました。

**小川** 大浜小学校は、町民全員が、PTA会員になっています。町民みんなで、学校をもりたてようというあらわれですね。

**岡野** 高校でも、県北の方では、PTA会長を保護者でなく、地域の方から選出しているところも多いですよ。町をあげて、高校を守ろう。という感じですね。

**宮地** スポーツ少年団が、活動の中で、地域の人に社会通念・社会のルール等も教えていただいています。地域の力をどんどん学校にも取り入れることで、地域の人々がゲストティーチャーとして匠の技、人生経験等の話をしていただき、学校が変わる大きな要因になっていきます。



因島高校PTA会長 岡野長寿

**岡野** 因島の成人式は、静粛な式でした。最初ざわざわしていましたが、水軍太鼓がドーン、ドーンと始まり、岡村さんが、大きな声で気合を入れるとシーンとしましたね。こういうように、地域の力を借りて、励ましたりいい方向にもっていかってやるというですね。

——今日はありがとうございました。

経済情勢に少し明るさが、見え始めた平成16年の年明けです。昨年は、人の生命を軽視した、若年層の犯罪が目立った年でありました。先に行われた他県の成人式で、常識では考えられない様な全く幼稚で無責任な行動を取る者



因島高校を支援する会会長 竹中啓修

### 目標に向かって

がいたことは、非常に残念なことでありました。私は、「支援する会」で事ある度に「躰」という言葉を使わせてもらっております。子育てで一番大切なことは「躰」これは、人としての基礎基本ではないでしょうか。幼い時から、嫌な事でもやらなければならぬことは、必ずやらす。我慢することを覚えさせる。集団で生活する為の守るべき社会の規律は必ず

守らせる。その様な事を小学校の低学年のうちから、徹底して躰で頂きたいと思えます。次は、中学校間の学力格差の問題であります。統一テストの結果が学校間で相当の点数の差があり、特定の教科で比較すると顕著に現れていると聞いております。このことは、地域の教育力の差であるとも考えられますが、教科での格差は、現場の教師の力量に依存するところが大きいのではないのでしょうか。今年度は本気で指導力を発揮していただきたいと思います。また、因島高校の生徒の

学習意欲を喚起するのも教師の仕事であり、サテライン講座などの積極受講の雰囲気を作ることも諸先生方の課せられた使命であります。それをサポートするのはPTAや保護者の仕事でもあると思えます。我々は、学校任せの教育でなく、学校・教師・保護者あるいは地域が一体となって、目標に向かって邁進し、かつての因島高校の輝きを取り戻すべく、頑張ってください。今年もよろしくお願いたします。



因島高校を支援する会会長 竹中啓修

**竹中** 因島高校から提案した方がいいでしょう。高校のPR



——今日はありがとうございました。



# 因島懐古

因島高校 校長 松林 博文



因島高校 校長 松林 博文

一つの疑問がある。「因島」の名前について

「因島」とは何と変わった名前の島であることか。向島、向かいにあるから「向島」、大きな島だから「大島」、神がおられる島だから「厳島」・「宮島」などである。

しかし、因島だけは一見そのようではない。「因島」の名前の由来には様々な説がある。神功皇后がこの島に立ち寄られた際、一晩中犬が鳴いていたので「犬島」、院の荘園があったので「院島」、尾道方面からこの島を見ようとすると、向島・岩子島・細島に隠れてよく見えないので「隠島」というのが三大有力説である。

また一説には、この島は何故ぞうなつたかは不明だが、一時「周島」と書かれたことがあり、「周」の字は「回」と書き誤られて、「回」の字は「因」と同じ字だと解されるようになったというのもある。更に一説では「隠」は「因」と同義語だというふうにも納得しにくい説である。確かに、この島は早くから音としては「インノシマ」といったのだろう。また、先の三大説のような由来も確かにあったに違いない。それなら「犬島」、「院島」、「隠島」と名前がついていてもよ

思う。長い間にその意味を伝える人が死に絶え、名前だけが残ったのだからと考えられる。

因島はその名の如く「瀬戸内海発展の基の島、起り、興りの島」なのだ。

これは他の島の人は胸を張っては少し言いきれないだろう。こう言い得るのはこの島びとにだけ許された特権なのだ。

本校は当に「因島高校」、生徒諸君はこの島にこの名を冠した誇りある遙かな祖先たちに思いを馳せ、高々とした志を胸に秘め「因島の海は世界につながっているのだ」と考えて欲しいものだ。

古文書での「因島」の初見は建久二年(一一九一年)の島田文書だそうだが、「因」という字は、「いわれ、ちなむ、わけ、もと、おこり」の意味がある。素直に「因島」を讀めば、「瀬戸内海発展のいわれの島、ちなむ島、わけの島、もとの島、おこりの島」としか読みようがない。

こうなると意図は明白であろう。これはすごい名前である。地理的にも瀬戸内海のちようど中央にあり、西に行くにも東に行くにも拠点たるにふさわしい位置にある。

「地理は歴史の母」、人間は地理に制約され、地理に従って生きる。歴史もまたこの「因島」という名に恥じない展開を見せている。

これは、あの村上水軍と近年では造船の島として全国に雄名を馳せ、島で市を構成するこれまた全国でも珍しい島であるという事実を示すだけで充分であろう。

しかし、地元の人からこんな島の由来話を聞いたことはない。これを私が言うところには新説だと口を揃えて言う。そんなことはないだろう。本当は昔の人は「因島」の意味は皆知っていたのだと

## 3年生 意気盛ん!! 課題研究発表会

平成15年度

### 課題研究発表会

平成15年11月20日、27日の両日、3年生が「課題研究」の発表会を行いました。この「課題研究」は、総合学科の最大の特徴で「自分で課題を見つけ、問題を解決していく」科目です。大学ならば、さし

ずめ卒業論文というところでしょう。第1日目は、因島高校で「広島県総合学科研究大会」が行われており、その前段で発表がなされ、全国から参加された先生方から「大

変良かった」とおほめの言葉をいただきました。第2日目は、2学年の生徒にも聴いてもらい、同じように好評を博すなど大成功の発表会となりました。

近年流行の教育のキーワードは「生きる力」の育成です。「生きる力」とは、「いかに社会が変化しようとも、自分で課題を見つけ、自ら学び自ら考え、主体的に判断し行動し、よりよく問題を解決する資質や能力である」と説明されています。

この眼で本校の課題研究を眺めてみますと、3年生全生徒181人の「課題研究」テーマは135テーマあり、関係する教科・科目は18教科・科目にわたります。これは生徒の興味・関心がいかに多様なものであるかを物語るもので、共同研究が少ないことは個性的で、自らの力で考え、主体的に行動しようとしていることの証左であり、総合学科の特長が十二分に生かされていることを読み取ることが出来ます。

優秀と思われるものを選んで、「課題研究論文集録」を発刊しました。各方面でご一読いただき、ご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

優秀と思われるものを選んで、「課題研究論文集録」を発刊しました。各方面でご一読いただき、ご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

「因島高校を支援する会」では、ぜひ、一人でも多くの方が入学し、定時制が活性化され、地域教育、生涯教育の中心的な役割を担えることを願っています。皆さんのお力添えをお願いいたします。

現在、因島高校定時制では、生徒が減少し、定時制高校の統合が叫ばれる中、学校を存続させるために、就学の機会がなかった人に「もう一度勉強しましょう。」と一般市民に入学を呼びかけています。現在、三人の中高生の方が、若い人たちに混じって勉強しています。

## みんなで行く定時制

現在、因島高校定時制では、生徒が減少し、定時制高校の統合が叫ばれる中、学校を存続させるために、就学の機会がなかった人に「もう一度勉強しましょう。」と一般市民に入学を呼びかけています。現在、三人の中高生の方が、若い人たちに混じって勉強しています。

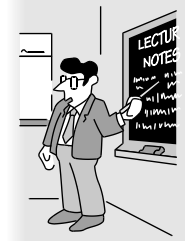
定時制高校を、市民の勉学の場、生涯学習の場として活用し、勉強したい市民を受け入れることは、定時制高校の活性化や存続につながると考えます。

そこで、「定時制の受験要件(高校の普通科卒業生は、普通科である定時制を受験できない)の見直し」を、広島県教育委員会に要望していただきましたところ、(本紙5月号で既報)過日、広島県教育委員会指導第二課の担当者から、

「因島高校を支援する会」では、ぜひ、一人でも多くの方が入学し、定時制が活性化され、地域教育、生涯教育の中心的な役割を担えることを願っています。皆さんのお力添えをお願いいたします。

「因島高校を支援する会」では、ぜひ、一人でも多くの方が入学し、定時制が活性化され、地域教育、生涯教育の中心的な役割を担えることを願っています。皆さんのお力添えをお願いいたします。

「因島高校を支援する会」では、ぜひ、一人でも多くの方が入学し、定時制が活性化され、地域教育、生涯教育の中心的な役割を担えることを願っています。皆さんのお力添えをお願いいたします。



## 「ことばの輝き」コンクール 優秀賞受賞 おめでとう!!

★効果的なトレーニングの方法についての実践報告 (金山幸広)

★清少納言の宮仕え―枕草子における清少納言の価値観と現代の価値観― (峯松みのり)

因島高校ですぐれた課題研究論文のいくつかを、県の「ことばの輝き」コンクールに応募しました。これは、今、県教育委員会が力を入れている「言葉の教育」の一環の事業です。このコンクールの卒業論文の部は、優秀賞5本を選出しますが、その中の2本が因島高校のものということになります。これによって、本校の「課題研究」のレベルの高さが証明されたものと先生方は喜んでおられます。

【他の主な研究論文】  
①赤川次郎はなぜ売れるか (茨木淳志)  
②現代女性と「好色五人女」 (上馬場藍子)  
③新撰組(小江芳江)  
④われらが故郷・因島を知ろう (岡野哲也・平澤優希・山村清史・村上祐輔・柏原正樹・村上康介・松原敦)  
⑤卓球を科学する! (池田裕介・松浦秀映)  
⑥電気分解 (楠見洋平・大出哲平・和木康修)  
⑦The World Heritage (山本祐希・箱崎友香)  
⑧ピアノ・ソナタ第2番ト短調 作品22についての考察 (原山由衣)

2月15日(日)、因島市PTA連合会(小川佳孝会長)は、芸子文化情報センターにて、PTA会員が一同に会し、心豊かでたくましい子供たちの育成をめざして、研究大会を実施します。

講演は、①因島市立校医会、益田裕朗先生の「子供の屈折異常」  
②府中市教育長、半田光行先生の「これからの教育に求められるもの」が行われます。

2月17日(火)午後7時30分より、因島高校PTAは市民対象に、陶芸教室を行います。申し込み・お問い合わせは、因島高校PTA事務局(電話④1281)まで。

みなさまのご参加をお待ちしています。

就職内定者にテーブルマナー講習会

因島高校PTAと、支援する会では、今春社会に旅立つ卒業生に激励を込めて、2月2日(月)、ナテック城山にて、テーブルマナー講習会を開く。昨年について2回目。

## 市民の投書箱

今、中学3年生と尾道の高校と大学へ子どもを行かしている親です。上の子は、因島高校へ行きましたが、尾道の学校の対応があまりにも違うのに驚かされています。それは、尾道の高校は、土曜日も時間割を組んで補習という授業があります。補習がない週でも、子どもたちが自主的に学校の図書館でグループ学習をしています。

本日は、尾道に行きたくて行つたのではないのですが、指導体制の不安があり、尾道にしました。まだ下の子もいますので現在の因島高校がどのようになっているかが気になるります。勉強合宿や予備校の衛星放送講座は、今ではどのようになっていますか。

▼小学校のある校長先生の話。「キレル子どもは、言葉数が少ない。自分の気持ちを充分表現することができなくて、つい手が出たり、暴力につながるケースが多い。だから、国語の力を付けさせることが大事です。」

因島高校では、3年生全員に論文を書かせ、優秀作品が、県で表彰されたという。国語力のレベルの高さが、キレル子どもに対応に役立つという。今後の因島高校に期待したい。

現在、日本各地で市町村の合併がおこなわれているが、その中で、昔からの由緒ある地名が消えたり、新しい名称に変わっている。松林校長先生によれば「因島」は由緒ある名前だそう。みなさん、ご存知でしたか?

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記

編集後記